## (1) -3 2年 物質の成り立ち 1年 水溶液

年

組

番

名前

良子さんたちは、保健だよりの記事に興味をもって、調べたり実験を行ったりしました。 (1)から(6)までの各問いに答えなさい。





### 入浴剤の記事に関すること 1

良子:入浴剤の主な原材料には、塩化ナトリウムがあるんだね。

太郎:そうだね。嵐宮のお湯に溶かすと濃度はどのくらいかな。

(1) 塩化ナトリウムの化学式として正しいものを、下のアからエまでの中から1つ選び なさい。また、5%の塩化ナトリウム水溶液100gをつくるために、必要な 塩化ナトリウムと水の質量は、それぞれ何gですか。

ア NaCl

1 ClNa

ウ Nacl エ Clna

塩化ナトリウムの化学式記号:

塩化ナトリウムの質量:

g

水の質量:

g

#### 入浴剤の記事に関すること2

良子:炭酸水素ナトリウムと硫酸ナトリウムは、水に溶ける量に違いがあるのかな。

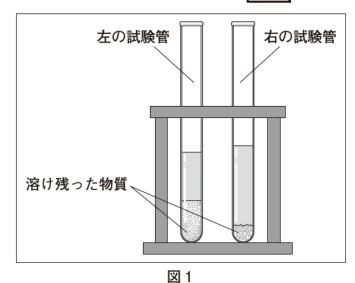
太郎: 2本の試験管を用意して、一方には炭酸水素ナトリウムを、他方には同じ質量の

硫酸ナトリウムを入れて、40℃の同じ量の水を加えて溶かしてみよう。

次郎: どちらに何を溶かしたのか、わからなくなったよ(図1)。

良子: 40 °C での溶解度の**表**から、溶け残った質量が大きい物質は X だね。

だから、炭酸水素ナトリウムを溶かした方は Y の試験管だね。



耒

20	
炭酸水素ナトリウム	硫酸ナトリウム
12.7g	48.1g

※ 40℃での溶解度

(2) 上の X , Y に当てはまる正しいものを、それぞれ下のア、イから1つ 選びなさい。

Х	ア	炭酸水素ナトリウム	1	硫酸ナトリウム
Υ	ア	左	1	右

X :	Y :

良子:蒸しパンをつくるときに加えるベーキングパウダーについて調べましょう。

太郎:ベーキングパウダーを加熱すると、どれだけ二酸化炭素が出るのかな。

水上置換法で集めて体積をはかろう。

花子:でも、水上置換法では、発生した二酸化炭素の正確な体積は、はかれないよ。

(3) 下線部の理由を、二酸化炭素の性質にふれて書きなさい。

太郎:蒸しパンの生地に炭酸水素ナトリウムを加えて加熱しても、あまりふくらまなかったよ。

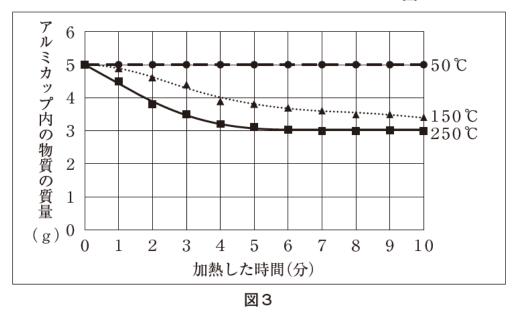
次郎:ぼくがつくったときは、ふくらんだよ。加熱する温度が違ったのかな。

花子:温度を変えて、ふくらみについて調べてみよう。

ふくらみは二酸化炭素の発生によることから、花子さんたちは、3つのアルミカップに炭酸水素ナトリウムを5gずつ入れ、実験用ホットプレート(図2)の温度を50  $^{\circ}$   $^$ 







- (4) 図3のグラフから、化学変化について読みとれることとして最も適切なものを、 下のアからエまでの中から1つ選びなさい。
  - ア 50℃では、ある時間から化学変化が起きている。
  - イ 150℃では、ある時間から化学変化が起きていない。
  - ウ 250℃では、ある時間から化学変化が起きていない。
  - エ 温度に関係なく、化学変化が起きている。



花子:ベーキングパウダーの主な原材料(図4)を, すべて同じ質量ずつ混ぜ合わせて水に溶かしたら,

二酸化炭素が出たね。

次郎: 炭酸水素ナトリウムだけを水に溶かしても,

二酸化炭素は出なかったよ。

太郎: クエン酸だけ、コーンスターチだけ、小麦粉だけをそれぞれ水に溶かしても、二酸化炭素は出なかったよ。

# ベーキングパウダーの 主な原材料

- ○炭酸水素ナトリウム
- ○クエン酸
- ○コーンスターチ
- ○小麦粉

図 4

花子:やっぱり、二酸化炭素が発生するためには、炭酸水素ナトリウムが必要なのかな。

良子:「ベーキングパウダーの主な原材料(図4)をすべて同じ質量ずつ混ぜ合わせて 水に溶かす実験」と、「 Z を同じ質量ずつ混ぜ合わせて水に溶かす実験」の 結果を比較すればわかるはずだね。

(5) 良子さんは<u>下線部</u>を確かめる実験で、上の Z に当てはまる主な原材料の組み合わせを考えました。入れる物質を $\bigcirc$ 、入れない物質を $\times$ で表したとき、最も適切なものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

	炭酸水素ナトリウム	クエン酸	コーンスターチ	小麦粉
ア	0	0	0	×
1	0	0	×	0
ウ	0	×	0	0
エ	×	0	0	0

次郎さんたちは、ベーキングパウダーにクエン酸が入っていることに疑問をもちました。 先生に相談したところ、「『炭酸水素ナトリウム 5g とクエン酸 1g を混ぜたもの(A)』 と『炭酸水素ナトリウム 5g (B)』をそれぞれ加熱して、減少した質量を調べてみましょう」とアドバイスをもらいました。

そこで、実験用ホットプレートの温度を200  $\mathbb{C}$  にして8 分間加熱する実験を行いました。 図 5 は、「加熱した時間」と「減少した質量」の関係を表したグラフです。

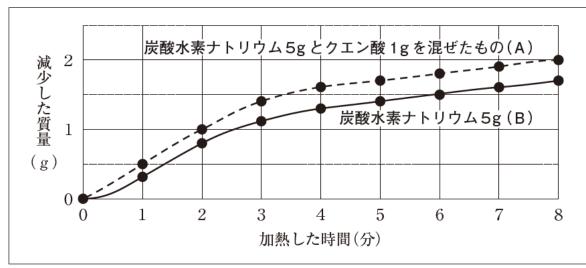
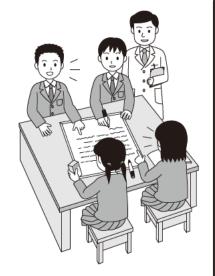


図5

良子:BよりもAの方が減少した質量が大きくなっています。

先生: 炭酸水素ナトリウムとクエン酸を混ぜて水を加えると、冷たくなって二酸化炭素が発生する 実験をしましたね。各自の意見をホワイトボード にまとめて、みんなで検討してみましょう。

次郎: Aでは炭酸水素ナトリウムの<u>熱による分解は</u> 起こらなくて, クエン酸との反応だけが起こっ ているのかな。



- (6) <u>下線部</u>の次郎さんの考えを、図5のグラフをもとにみんなで検討しました。検討後の考えとして最も適切なものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。
  - ア 次郎さんの考えと同じで、熱による分解は起こらず、クエン酸との反応だけが起こっている。
  - イ 次郎さんの考えと違い、熱による分解だけが起こっている。
  - ウ 次郎さんの考えと違い、熱による分解もクエン酸との反応も起こっている。
  - エ 次郎さんの考えと違い、熱による分解もクエン酸との反応も起こっていない。

# ①-3 2年 物質の成り立ち 1年 水溶液

 年
 組
 番

 名前

良子さんたちは、保健だよりの記事に興味をもって、調べたり実験を行ったりしました。 (1)から(6)までの各問いに答えなさい。





#### 入浴剤の記事に関すること1

良子:入浴剤の主な原材料には、塩化ナトリウムがあるんだね。

太郎:そうだね。風呂のお湯に溶かすと濃度はどのくらいかな。

(1) 塩化ナトリウムの化学式として正しいものを、下のアから工までの中から1つ選び なさい。また、5%の塩化ナトリウム水溶液100gをつくるために、必要な 塩化ナトリウムと水の質量は、それぞれ何gですか。

ア NaCl イ ClNa ウ Nacl エ Clna

塩化ナトリウムの化学式記号: プ

塩化ナトリウムの質量: 5 g 水の質量: 95 g

#### 入浴剤の記事に関すること2

良子:炭酸水素ナトリウムと硫酸ナトリウムは、水に溶ける量に違いがあるのかな。

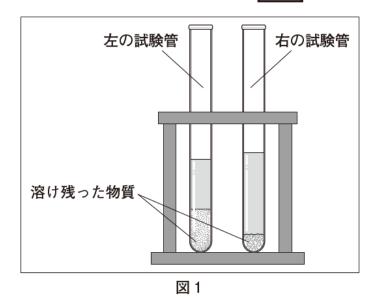
太郎: 2本の試験管を用意して、一方には炭酸水素ナトリウムを、他方には同じ質量の

硫酸ナトリウムを入れて、40℃の同じ量の水を加えて溶かしてみよう。

次郎: どちらに何を溶かしたのか、わからなくなったよ(図1)。

良子: 40 ℃での溶解度の**表**から、溶け残った質量が大きい物質は X だね。

だから、炭酸水素ナトリウムを溶かした方は Y の試験管だね。



#### 表

炭酸水素ナトリウム	硫酸ナトリウム
12.7g	48.1g

※ 40℃での溶解度

(2) 上の X , Y に当てはまる正しいものを、それぞれ下のア、イから1つ 選びなさい。

Х	ア	炭酸水素ナトリウム	1	硫酸ナトリウム
Υ	ア	左	1	右

x: ア Y: ア

良子:蒸しパンをつくるときに加えるベーキングパウダーについて調べましょう。

太郎:ベーキングパウダーを加熱すると、どれだけ二酸化炭素が出るのかな。 水上置換法で集めて体積をはかろう。

花子:でも、水上置換法では、発生した二酸化炭素の正確な体積は、はかれないよ。

(3) 下線部の理由を、二酸化炭素の性質にふれて書きなさい。

理由:

(例) 水に少し溶けるから。

太郎:蒸しパンの生地に炭酸水素ナトリウムを加えて加熱しても、あまりふくらまなかったよ。

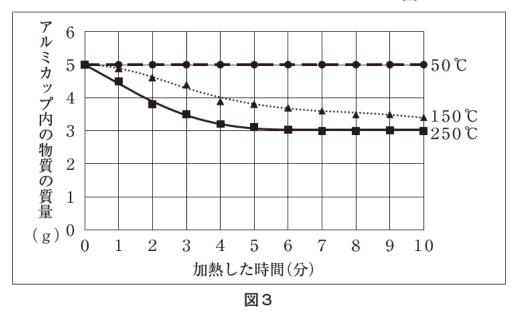
次郎:ぼくがつくったときは、ふくらんだよ。加熱する温度が違ったのかな。

花子:温度を変えて、ふくらみについて調べてみよう。

ふくらみは二酸化炭素の発生によることから、花子さんたちは、3つのアルミカップに炭酸水素ナトリウムを5gずつ入れ、実験用ホットプレート(図2)の温度を50  $^{\circ}$   $^$ 



図2



- (4) 図3のグラフから、化学変化について読みとれることとして最も適切なものを、 下のアからエまでの中から1つ選びなさい。
  - ア 50℃では、ある時間から化学変化が起きている。
  - イ 150℃では、ある時間から化学変化が起きていない。
  - ウ 250℃では、ある時間から化学変化が起きていない。
  - エ 温度に関係なく、化学変化が起きている。

ウ

花子:ベーキングパウダーの主な原材料(図4)を, すべて同じ質量ずつ混ぜ合わせて水に溶かしたら,

二酸化炭素が出たね。

次郎:炭酸水素ナトリウムだけを水に溶かしても,

二酸化炭素は出なかったよ。

太郎: クエン酸だけ、コーンスターチだけ、小麦粉だけをそれぞれ水に溶かしても、二酸化炭素は出なかったよ。

# ベーキングパウダーの 主な原材料

- ○炭酸水素ナトリウム
- ○クエン酸
- ○コーンスターチ
- ○小麦粉

図 4

花子:やっぱり、二酸化炭素が発生するためには、炭酸水素ナトリウムが必要なのかな。

良子:「ベーキングパウダーの主な原材料(図4)をすべて同じ質量ずつ混ぜ合わせて 水に溶かす実験」と、「 Z を同じ質量ずつ混ぜ合わせて水に溶かす実験」の 結果を比較すればわかるはずだね。

(5) 良子さんは<u>下線部</u>を確かめる実験で、上の Z に当てはまる主な原材料の組み合わせを考えました。入れる物質を $\bigcirc$ 、入れない物質を $\times$ で表したとき、最も適切なものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

	炭酸水素ナトリウム	クエン酸	コーンスターチ	小麦粉
ア	0	0	0	×
1	0	0	×	0
ウ	0	×	0	0
エ	×	0	0	0

工

次郎さんたちは、ベーキングパウダーにクエン酸が入っていることに疑問をもちました。 先生に相談したところ、「『炭酸水素ナトリウム 5g とクエン酸 1g を混ぜたもの(A)』 と『炭酸水素ナトリウム 5g (B)』をそれぞれ加熱して、減少した質量を調べてみましょう」とアドバイスをもらいました。

そこで、実験用ホットプレートの温度を200  $\mathbb{C}$  にして8 分間加熱する実験を行いました。 図 5 は、「加熱した時間」と「減少した質量」の関係を表したグラフです。

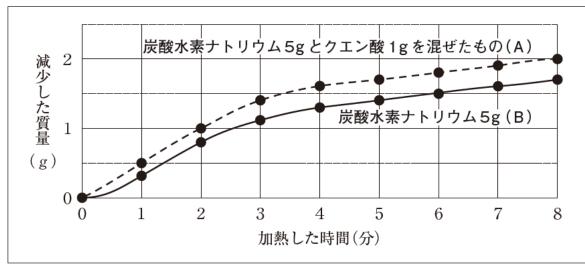
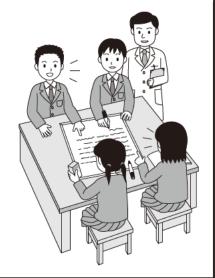


図5

良子:BよりもAの方が減少した質量が大きくなっています。

先生: 炭酸水素ナトリウムとクエン酸を混ぜて水を加えると、冷たくなって二酸化炭素が発生する 実験をしましたね。各自の意見をホワイトボード にまとめて、みんなで検討してみましょう。

次郎: Aでは炭酸水素ナトリウムの<u>熱による分解は</u> 起こらなくて, クエン酸との反応だけが起こっ ているのかな。



- (6) <u>下線部</u>の次郎さんの考えを、図5のグラフをもとにみんなで検討しました。検討後の考えとして最も適切なものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。
  - ア 次郎さんの考えと同じで、熱による分解は起こらず、クエン酸との反応だけが 起こっている。
  - イ 次郎さんの考えと違い、熱による分解だけが起こっている。
  - ウ 次郎さんの考えと違い、熱による分解もクエン酸との反応も起こっている。
  - エ 次郎さんの考えと違い、熱による分解もクエン酸との反応も起こっていない。

